

飯能市立飯能第一小学校等建替え 及び複合化に関する協議会

令和5年度

第1回 会議資料

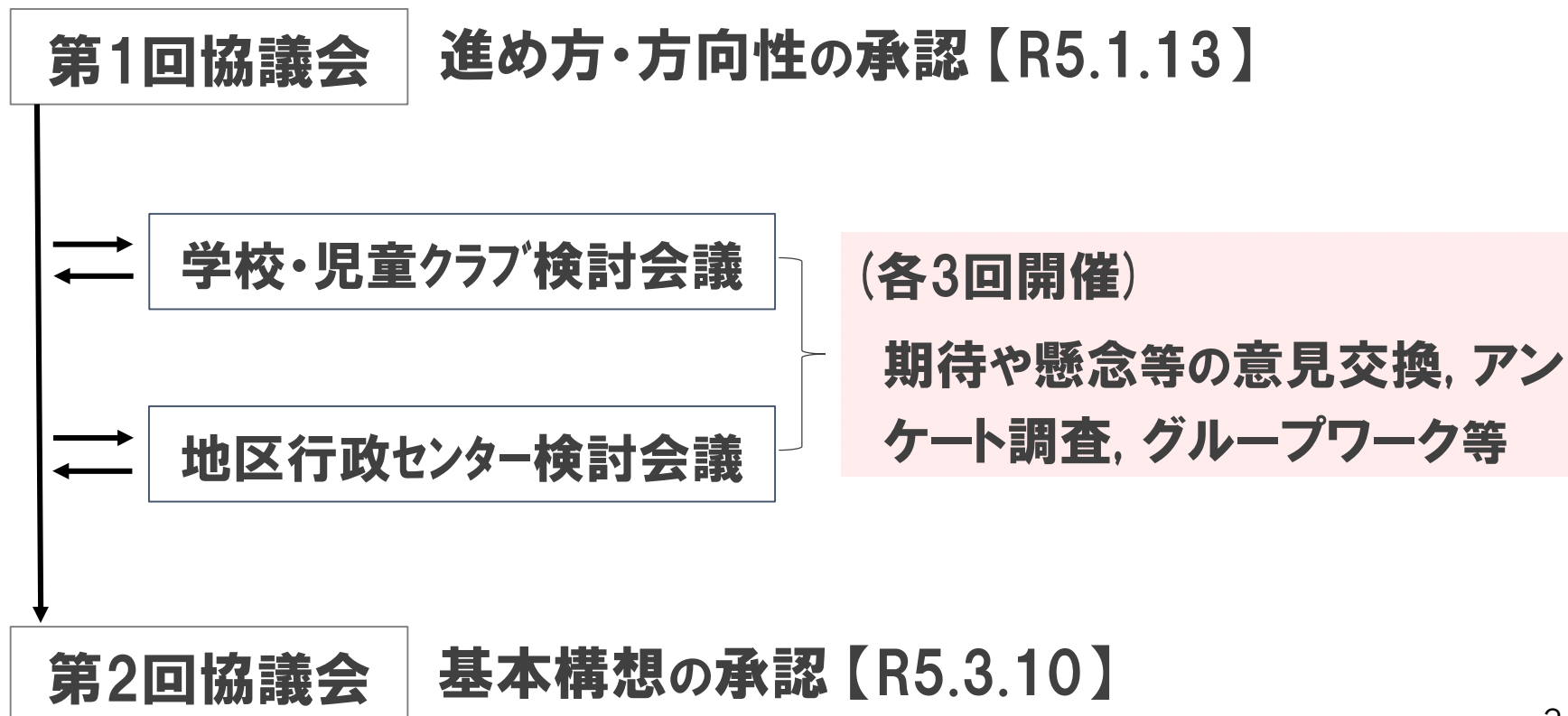
令和5年6月23日

資料項目

1. 令和4年度の検討内容の振り返り
2. 令和5年度の目標及び検討スケジュール
3. 基本的な視点
4. 施設ごとの整備方針(案)

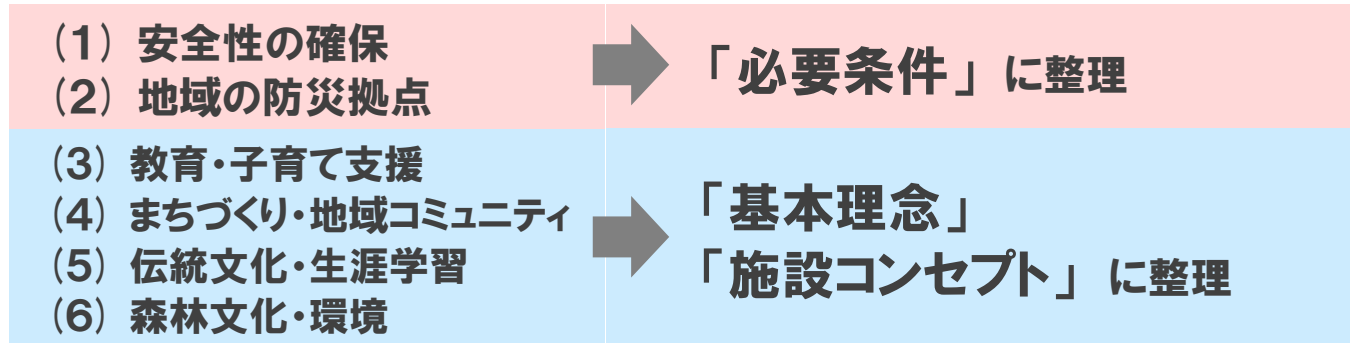
令和4年度の取組

「複合施設の建設に係る **基本構想の策定**」



基本構想

1 留意すべき視点 検討にあたって前提となる視点を6項目に分類



2 必要条件

多様な人々が安心して利用できるよう、「防犯」、「事故防止」、「防災」に必要な項目を記載

3 基本理念 「人づくり × まちづくり」未来へつなげる地域の交流拠点

留意すべき視点から読めるイメージを文章化し、目指すべき施設像を記載

4 施設コンセプト

基本理念を実現するため「教育」、「交流」、「居場所」の3要素を記載

5 より良い施設に向けて

施設の整備のみにとどまらず、関係者の皆様との連携・協力が重要である旨を記載

令和5年度の目標

複合施設の建設に係る「基本計画」の策定

【基本計画の項目】

- 1 基本的な視点
- 2 施設ごとの整備方針 } 今回協議、決定
- 3 複合施設の規模、配置 } 夏～秋頃にかけて検討
- 4 各フロアの構成 } 秋～冬頃にかけて検討

【検討の流れ】

- ・ 検討会議での議論を経て、協議会で方向性を決定。
- ・ 内容によっては両検討会議の合同開催も。

基本的な視点

複合施設ならではの利点を生かし、**夢**ある基本計画へ

1 コンパクト&使い勝手の良さの実現

- ・ 3施設の複合化
- ・ 施設の多機能化・高機能化
- ・ 相乗効果を生み出す共有スペースの整備

2 「未来へつなげる地域の交流拠点」の実現

多様な人々が集う性格上...

- ・ 交流の生まれる空間的仕掛け
- ・ 防犯及び事故防止対策の徹底

2つの基本的な視点を踏まえ、関係者の皆様の連携協力による策定を基本とする。

施設ごとの整備方針（案）

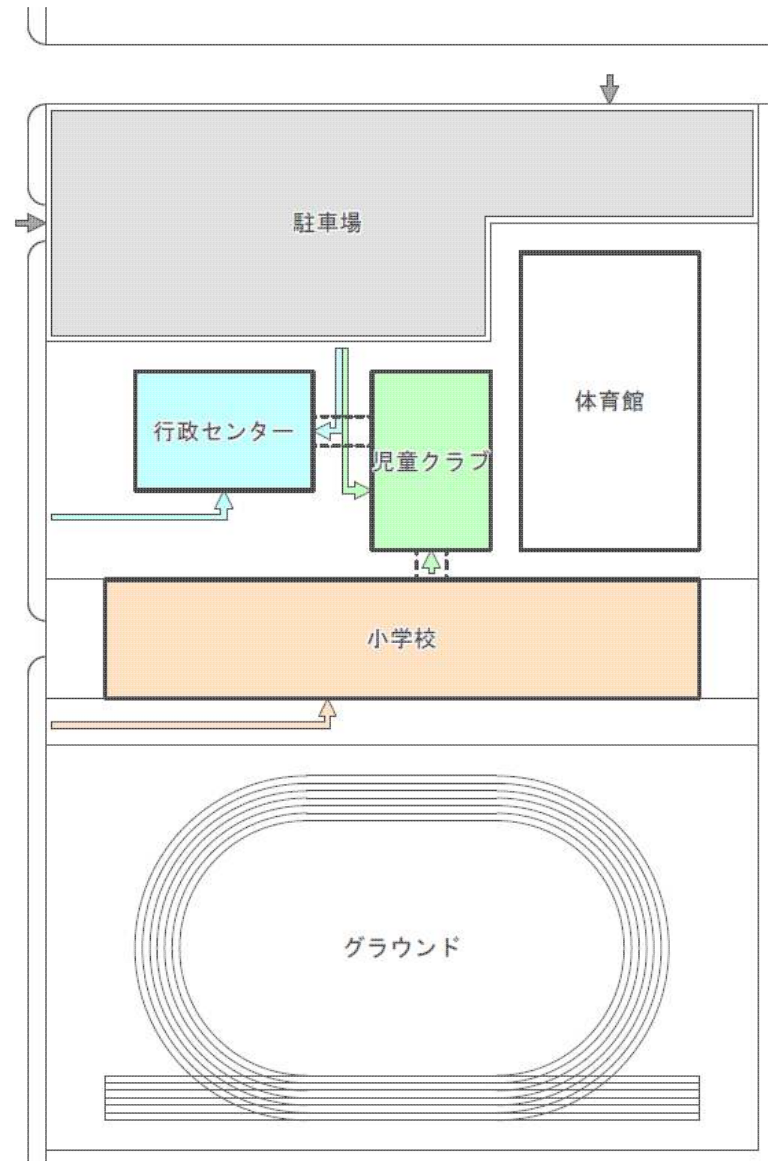
飯能第一小学校、児童クラブ、飯能中央地区行政センターのそれぞれの施設整備方針について、**各検討会議で協議の上、別紙のとおり整理した。**

複合施設の規模、配置

【例】

施設の規模や配置、
動線などを検討します。

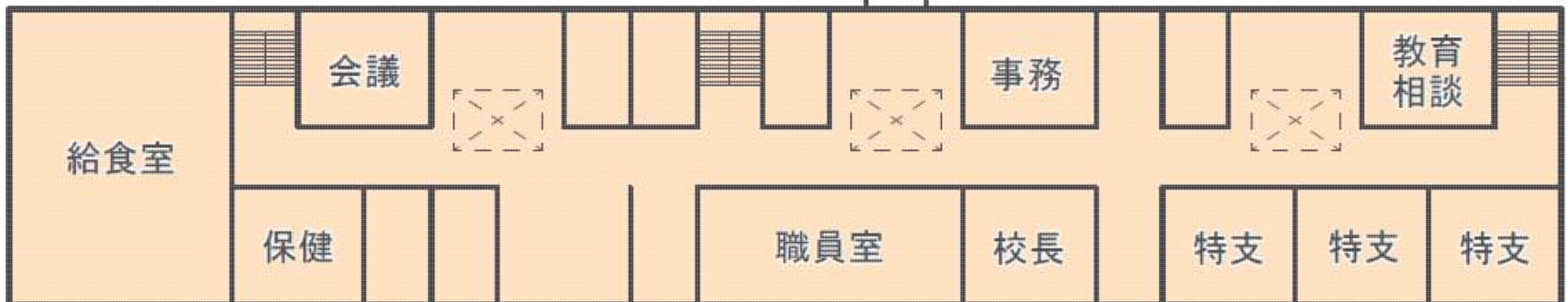
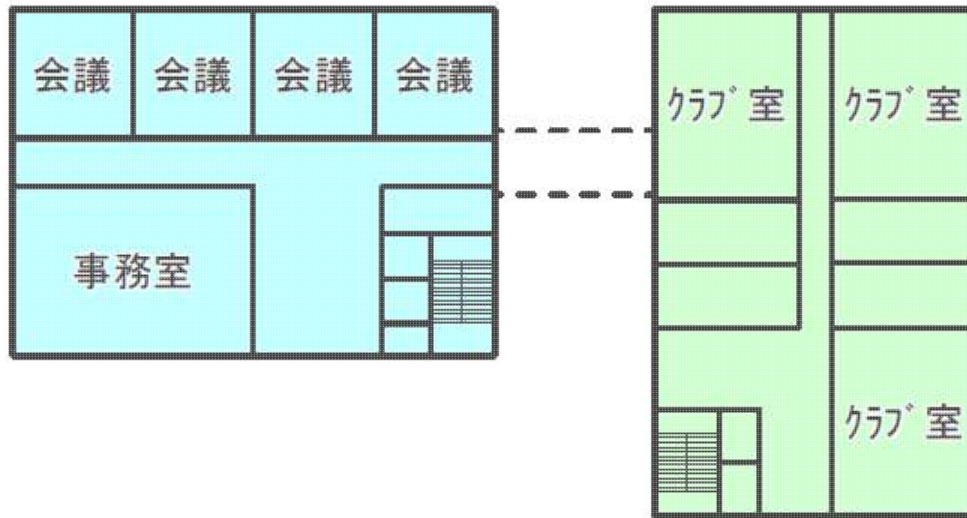
(夏～秋頃)



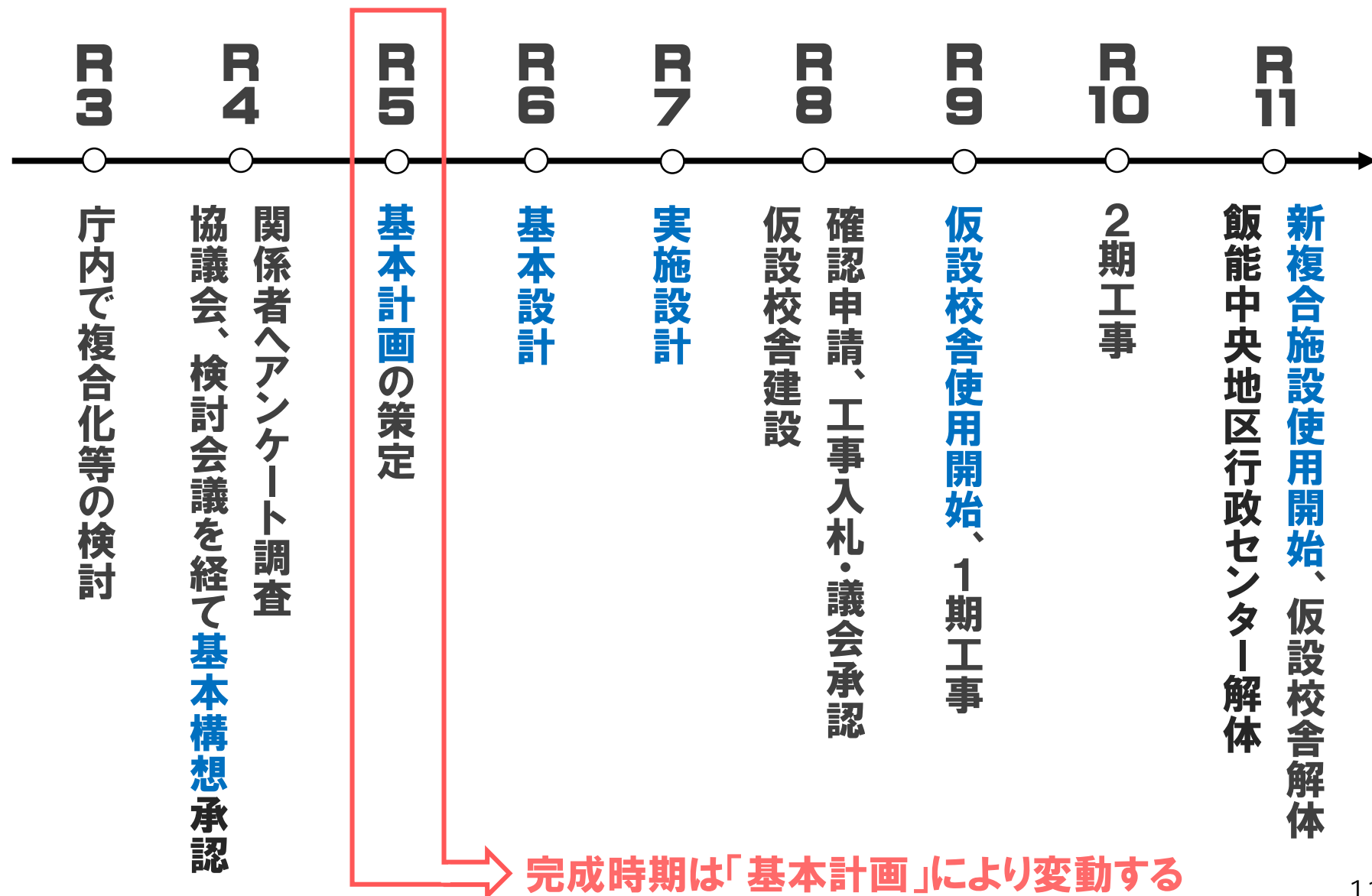
各フロアの構成

施設ごとに必要な部屋や共有部などを検討します。(秋～冬頃)

【例】



建替え及び複合化のスケジュール(仮)



施設ごとの整備方針(案)

1 小学校施設の整備方針

文部科学省の「小学校施設整備指針」に準拠した上で、地域の文化や風土とも調和し、飯能第一小学校の良さを活かした整備を進めます。

(1) 多様な教育的ニーズに対応できる施設の整備（学習環境）

未来を担う子どもたちが、一人ひとり輝き、将来の社会環境の変化にも対応できるよう、多様な教育的ニーズや求められる学び・活動の変化に柔軟に対応できる施設環境を整備します。

個別最適な学び^{*1} と 協働的な学び^{*2} の一体的な充実を図り、主体的・対話的で深い学びが実現されるよう、学校施設全体を学びの場として捉え、子どもたちの創造的・探究的な学習活動を支援する工夫や、様々な可能性を引き出す空間づくりを行います。

また、教育活動の幅を広げ、質を高めるため、複合施設の機能を有効活用し、地域の教育力を取り入れやすい施設づくりを推進します。

(2) 安心・安全で、健康的な施設の整備（生活環境）

子どもたちが1日の多くの時間を過ごす場として、また、教職員の働く場として、十分な防災性、防犯性などを備えた安心・安全な施設であるとともに、日照、採光、通風、換気、室温、音の影響等に配慮し、快適で健康的な施設環境を整備します。

子どもたちが、落ち着いてのびのびと過ごすことができるあたたかみのある居場所づくり、仲間とのふれあいや語らいができる空間づくりを行います。

さらに、地域の特性や自然環境とも調和し、環境に配慮した施設づくりを推進します。

(3) 地域と連携した施設の整備（地域交流）

ユニバーサルデザインを採用するなど、様々な利用者に配慮した施設環境を整備します。

保護者や地域住民が、学校運営や様々な学校の教育活動に参画しやすい施設にするとともに、学校が、子どもたちの学習活動の成果や取組等について、情報発信しやすい施設づくりを行います。

さらに、「地域とともにある学校」の実現を目指し、多世代・多分野の人々との交流を通して地域の伝統を受け継ぎ、子どもたちの成長を支える施設づくりを推進します。

*1 個別最適な学び…個々の特性・学習進度等に応じた指導・支援や、個々の興味関心に応じた学習活動・学習課題を提供することで育まれる学び

*2 協働的な学び…探究的な学習や体験活動を通じ、クラスメイト、異学年・他校の子ども、地域の人など多様な他者と協働する（意見を出しあったり問題解決したりする）中で得られる学び

小学校施設の整備の参考例

(1) 多様な教育的ニーズに対応できる施設の整備(例)

- 教室空間の充実(対話的で深い学びや、1人1台端末に対応した学習机を前提とする一方で、多目的に使用できる空間づくり)
- 可動間仕切りの設置
- 多目的スペースの整備
- 廊下等共用部分の有効活用
- ICT環境の整備
- 学校図書館の機能向上
- 特別支援学級や通級指導のための環境整備
- 不登校児童対策機能

(2) 安心・安全で、健康的な施設の整備(例)

- 木材の積極的な活用による内装等の木質化
- 廊下等共用部分の有効活用
- あたたかみのある生活空間(安心、くつろぎ、語らいの空間)
- 居場所にできる小空間・コーナー等
- 壁や窓等の断熱性向上、高効率照明等の導入
- 省エネルギー化や再生可能エネルギーの活用
- 維持管理しやすく、長期間有効に使うことができる構造・配置

(3) 地域と連携した施設の整備(例)

- スロープ、バリアフリーや多様性に配慮したトイレ、エレベーター等の整備
- 地域連携・協働スペース
- 地域交流花壇
- セキュリティ面に配慮した上での相互利用・共同利用
- ICT環境の整備(動画等での学校紹介・案内など)
- 展示スペース・ギャラリー

※ 別紙参考 : 「新しい時代の学びを実現する学校施設の在り方について 最終報告【概要版】」
(令和4年3月 学校の在り方に関する調査研究協力者会議)より抜粋

2 放課後児童クラブ施設の整備方針

(1) 今後の児童数に応じた放課後児童クラブの設置

本市の子ども・子育て支援事業計画（計画年度：令和2年度から令和6年度）において、児童の推計人口は令和4年度をピークに減少へと転じますが、飯能第一小学校区の放課後児童クラブの登録児童数は、保護者の働き方や核家族化などの社会状況を背景に、今後も一定程度の増加傾向が見込まれるため、横ばいで推移するものとしております。

新たな複合施設には、現在の登録児童数の状況やクラブ数を基に、今後、本格的に到来する児童数の減少による登録児童数の変化にも柔軟に対応可能となるクラブの整備を進めます。

(2) 子どもたちが安心して過ごし、学校・地域との交流が図れる施設づくり

子どもの健全な育成と遊びや生活、学習を支援し、子どもたちが安心して過ごせる生活の場としてふさわしい環境を整えます。

遊びや生活、学習の場としての保育室や事務スペースのほか、必要な設備を確保します。

複合施設として整備することから、子どもたちの安全を第一に考え、学校との連携や地域との交流を図りながら、子どもたちの一人ひとり、また集団全体での生活や豊かな成長を支える地域に根づいた施設づくりを行います。

3 飯能中央地区行政センター施設の整備方針

(1) 様々な学びと地域コミュニティの場としての施設づくり

小学校や放課後児童クラブを含む複合施設として連携し、子どもたちの安全を第一に考えた地域行政としての施設づくりを行います。

同時に地域の公民館として、高齢者の生きがいづくり、世代を超えた交流、多世代が学びあえる生涯学習の視点も重視するとともに、地域の魅力や情報、文化や芸術を発信していける地域コミュニティの拠点としての施設づくりを行います。

(2) 誰もが活動しやすく居心地の良い施設づくり

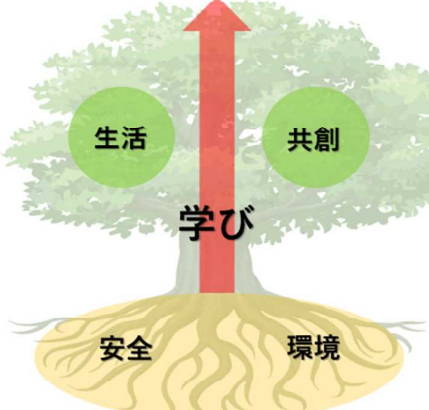
地域の身近な活動の場として、また、誰もが安全で安心して利用できる施設づくりを行います。エレベーター、バリアフリーや多様性に配慮したトイレ、手すりの設置など、様々な人々が支障なく利用でき、誰もが居心地よく、くつろげる施設づくりを行います。

(3) 地域防災の拠点としての施設づくり

地域防災の拠点である指定避難所として、耐震性を確保した施設整備を図るとともに、学校や地域が連携した地域防災活動の拠点としての機能が発揮できるよう、施設づくりを行います。

【新しい時代の学び舎として創意工夫により特色・魅力を発揮】

全ての子どもたちの可能性を引き出す、
個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実



新しい時代の学び舎として目指していく姿

「未来思考」をもった上で、「全ての子どもたちの可能性を引き出す、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」に向けて、**これからの新しい時代の学び舎として目指していく姿**を示す。

新しい時代の学び舎として創意工夫により特色・魅力を発揮するものとして、その中心となる「幹」に『**学び**』を据え、その学びを豊かにしていく「枝」として『**生活**』『**共創**』の空間を実現する。

また、新しい時代の学び舎の土台として着実に整備を推進していく「根」として『**安全**』『**環境**』の確保を実現する。

学び

個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に向け、**柔軟で創造的な学習空間を実現**

- ⇒ 1人1台端末環境等に対応した机を配置し、多様な学習を展開できる教室環境の整備
- ⇒ 個別学習や少人数学習など柔軟に対応できる多目的スペース、学習支援、教育相談等の環境整備
- ⇒ 教職員のコミュニケーション・リフレッシュの場（ラウンジ）、映像編集空間（スタジオ）の整備

（教室・教室周辺の空間の改善・充実に関する創意工夫の例）



1人1台端末環境等に対応したゆとりのある教室の整備



多目的スペースの活用による多様な学習活動への柔軟な対応



ロッカースペース等の配置の工夫等による教室空間の有効活用

生活

新しい生活様式を踏まえ、**健やかな学習・生活空間を実現**

- ⇒ 居場所となる温かみのあるリビング空間（小教室・コーナー、室内への木材利用）
- ⇒ 空調設備の整備、トイレの洋式化・乾式化、手洗い設備の非接触化

共創

地域や社会と連携・協働し、**ともに創造する共創空間を実現**

- ⇒ 地域の人たちと連携・協働していく活動・交流拠点として「共創空間」を創出
- ⇒ 地域の実情等に応じた他の公共施設等との複合化・共用化等

【新しい時代の学び舎の土台として着実に整備を推進】

安全

子どもたちの生命を守り抜く、**安全・安心な教育環境を実現**

- ⇒ 老朽化対策等により、安全・安心な教育環境を確保
- ⇒ 避難所として自家発電・情報通信設備、バリアフリー、水害対策等の防災機能を強化

環境

脱炭素社会の実現に貢献する、**持続可能な教育環境を実現**

- ⇒ 屋根や外壁の高断熱化や高効率照明などの省エネルギー化、太陽光発電設備の導入の促進により、ZEB（ネット・ゼロ・エネルギー・ビル）を推進
- ⇒ 環境や地域との共生の観点から学校における木材利用（木造化、室内利用）を推進

新しい時代の学びを実現する空間イメージ例（未来思考の視点を含む）

これからの学校施設は、新しい時代の学びを実現していくことを基本とし、それらを具体化する施設環境を創造していく

学び



単一的な機能・特定の教科等に捉われず、横断的な学び、多目的な学びに対応できるよう、創造的な空間に転換していく姿

学び



学校図書館とコンピュータ教室と組み合わせさせて読書・学習・情報のセンターとなる「ラーニング・コモンズ」としていく姿

学び



教室と連続する空間も活用し、高機能のコンピュータ室を専門的で高度な学びを誘発する「デザインラボ」としていく姿

学び



映像編集やオンライン会議のためのスタジオ、情報交換や休憩ができるラウンジなど、円滑に業務を行える執務空間としていく姿

生活



木材を活用し温かみのあるリビングのような空間の中で、壁面の工夫やベンチ等を配置し、豊かな学び・生活の場としていく姿

共創



地域コミュニティの拠点として、地域や社会の人たちと連携・協働し、ともに創造的な活動が展開できる共創空間としていく姿

安全



長く使い続けることができるように安全性を確保し、子どもたちの学び・生活の場、地域のコミュニティの拠点としていく姿

環境



省エネルギー化や再生可能エネルギーを導入等を積極的に進め、環境教育での活用や地域の先導的役割を果たしていく姿